

第 55 期 滋賀地方最低賃金審議会

令和 3 年度第 1 回滋賀県窯業・土石製品製造業専門部会議事要旨

開催日時	令和 3 年 10 月 11 日（月） 9 時 35 分～11 時 47 分
開催場所	コラボしが 21 中会議室 1
出席状況	公益代表委員（定数 3 人） 石井利江子 木下康代 佐野洋史 労働者代表委員（定数 3 人） 相澤三千代 旭 光輝 津田真志 使用者代表委員（定数 3 人） 枝國聡司 中村 淳 西田保夫 事務局 4 人 矢野労働基準部長、綿貫賃金室長、 神崎室長補佐、福岡賃金指導官
主要議題	滋賀県窯業・土石製品製造業最低賃金の改正決定について （金額審議）
議事要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 労使各側委員の主張概要 <li style="padding-left: 20px;">労側委員の主張 <li style="padding-left: 40px;">新型コロナウイルス感染症の影響は少なからずあるものの、製造業においてはコロナ禍以前の状況に戻りつつある。地賃に飲み込まれてしまう危機感も持っており、大幅な引き上げが必要である。窯業・土石製品製造業は液晶ディスプレイ等他の産別産業との関連も大きく、下支えも担っており、重要な産業である。生産指数や出荷指数の月別の伸び率は、他の産別業種と比較しても高い。 <li style="padding-left: 40px;">連合(滋賀)のリビングウェイジは 980 円であり、早く到達したいと考えているとして引上げ額を提示。 <li style="padding-left: 20px;">使側委員の主張 <li style="padding-left: 40px;">新型コロナウイルス感染症の影響により、中小零細企業に大きな影響が出ている状況が続いている。地賃時の引上げ額 28 円の目安には何ら根拠が認められないことから現在でも納得していない。したがって、引上げ額 28 円をベースとして話し合うつもりはない。6 月速報の鉱工業指数や有効求人倍率の推移からみて、前年(令和 2 年)同期と比較した場合は戻ってきているが、前々年(令和元年)同期と比べると戻り切っていない。本年度の賃金改定状況調査第 4 表産業計 B ランクの賃金上昇率に基づき、1 円の引上げを提示する。 ・ 労使の意見の隔たりが埋まらず、この日の審議は終了した。 ・ 次回は専門部会（第 2 回） 令和 3 年 10 月 15 日(金) 9 : 30～